

平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ブロッコリー

コード番号 2706 URL <http://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 知治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-5372-6322

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	3,030	△34.6	545	△10.6	544	△9.7	556	18.9
24年2月期第3四半期	4,635	△40.3	610	201.3	602	204.1	468	176.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	17.03	—
24年2月期第3四半期	14.32	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	2,246	1,472	65.6
24年2月期	1,970	1,030	52.3

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 1,472百万円 24年2月期 1,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	3.50	3.50
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	5.50	5.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成25年2月期における配当予想の詳細につきましては、本日付で公表いたしました「業績予想及び配当予定の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,150	△23.4	750	12.8	750	14.1	760	14.3	23.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	32,713,211 株	24年2月期	32,713,211 株
25年2月期3Q	694 株	24年2月期	211 株
25年2月期3Q	32,712,526 株	24年2月期3Q	32,713,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、これまで復興需要の本格化など政策面での押し上げがありました。輸出が弱含むなど回復が足踏みしております。また、経済成長の牽引役である中国をはじめ新興国においても成長ペースに鈍化が見られるなど、世界的に景気減速感が拡がりつつあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、引き続き底堅い市場を維持しておりますが、コンテンツ関連は、CD市場が回復傾向にあり、ブルーレイ市場は堅調でありましたが、スマートフォンの普及やタブレット端末など、デバイスの多様化に伴った携帯機器向けの音楽・映像・電子書籍等の、コンテンツサービスの充実も進んでおり、企業間の競争は、一段と激しさを増しております。

当社は、かかる経営環境下において、収益力の更なる向上を実現するために、「自社内にて開発するコンテンツのヒット創出及びハイリターンへの追求」、「リアルグッズ製作での確実な収益確保」の2つを両立する事業戦略(ツインエンジン化)を推進しつつ、長期滞留在庫の管理強化及び徹底したコスト管理にも注力してまいりました。

このような状況下、当第3四半期累計期間の売上高は3,030百万円(前年同期比65.4%)、売上総利益率は42.4%(前年同期比7.7ポイントアップ)、売上総利益は1,283百万円(前年同期比79.9%)となりました。

売上高は、平成23年6月1日をもって株式会社アニメイトに当社リテール事業を譲渡いたしましたことにより、前年同期を下回っておりますが、売上総利益率は前年同期を上回っております。この主な要因としては、以下のとおり製品部門の利益率が向上したことが挙げられます。

ゲーム部門におきましては、平成24年5月に発売いたしましたゲームソフト『うたの☆プリンスさまっ♪Debut』の売上が好調であった他、関連作品のバックオーダーも引き続き順調であり、CD部門におきましても、平成24年7月に発売いたしました『うたの☆プリンスさまっ♪Shining All Star CD』や同年11月に発売いたしました『うたの☆プリンスさまっ♪シャッフルユニットCD』2作の売上が期初計画を大幅に上回った他、タイアップCDも好調な売上であったことにより、ゲーム・CDの両部門ともに期初計画を上回ることができました。カードゲーム部門につきましては、平成24年7月から発売を開始し、同年10月に第2弾を発売いたしましたトレーディングカードゲーム『Z/X(ゼクス) -Zillions of enemy X-』シリーズの売上が大変好調であり、期初計画を大幅に上回りました。また、グッズ部門におきましても堅調に推移いたしました。

次に、販売費及び一般管理費につきましては、コスト管理を推し進め、738百万円(前年同期比74.1%)となりました。

この結果、営業利益は545百万円(前年同期比89.4%)、経常利益は544百万円(前年同期比90.3%)、四半期純利益は556百万円(前年同期比118.9%)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は2,017百万円で、前事業年度末に比べ116百万円増加しております。現金及び預金の増加99百万円、売掛金の増加11百万円、原材料及び貯蔵品の増加9百万円、仕掛品の減少5百万円が主な要因であります。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は228百万円で、前事業年度末に比べ159百万円増加しております。定期預金の増加100百万円、ソフトウェアの増加40百万円が主な要因であります。

#### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は626百万円で、前事業年度末に比べ295百万円減少しております。買掛金の減少6百万円、未払金の増加66百万円、未払法人税等の減少1百万円、返品調整引当金の増加8百万円、事業譲渡損失引当金の減少376百万円、賞与引当金の増加44百万円が主な要因であります。

#### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は146百万円で、前事業年度末に比べ129百万円増加しております。事業譲渡に伴うポイント精算の確定による長期未払金の増加100百万円、リース債務の増加29百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は1,472百万円で、前事業年度末に比べ442百万円増加しております。これは、四半期純利益556百万円が計上された一方で、配当金の支払114百万円が行われたことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社の事業戦略は、リアルグッズ・メーカーとしての確実な収益確保をバックボーンとしつつ、コンテンツ・メーカーとして社会に向けての夢の発信と、クリエイティブな、そしてハイリターンを視野に入れたチャレンジを実行するという2つであります。

上記事業戦略におきましては、コンテンツ開発機能を軸として、ゲーム、音楽CD、カードゲーム等へのスムーズな製品展開を行い、コンテンツそのものの持つ価値を最大化していくことで、成果に応じたリターンを得ることができそうですが、コンテンツそのものの利益も二次製品の利益も、損益分岐点を境にして、大きく変動する要素を持っております。

また、リアルグッズにつきましても、業界における当年度のヒットコンテンツの有無やそのライフサイクルの長さによっては、製品展開が大きく変動する要素があります。

このような業績変動に伴う不確実性を鑑み、売上高の増減による利益影響を考慮して、通期の業績予想につきましては、レンジ形式により金額表示しておりましたが、当第3四半期累計期間の業績開示により通期業績予想の確実性が増したため、本日公表いたしました「業績予想及び配当予定の修正に関するお知らせ」において、平成25年2月期通期の業績予想の表示をレンジ形式から特定値形式に変更しております。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しておりますが、業績等につきましては経営環境の変化やその他様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、その場合には開示が可能となった時点で速やかに業績予想の修正を公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1 四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,273,984	1,373,507
売掛金	267,178	279,085
商品及び製品	98,062	102,476
仕掛品	73,000	67,260
原材料及び貯蔵品	1,066	10,722
その他	188,707	185,460
貸倒引当金	△800	△666
流動資産合計	1,901,199	2,017,845
固定資産		
有形固定資産	17,368	20,944
無形固定資産	16,663	57,023
投資その他の資産		
その他	36,924	152,267
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	34,924	150,267
固定資産合計	68,956	228,235
資産合計	1,970,156	2,246,080
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	250,514	243,730
未払金	70,231	136,616
未払法人税等	6,310	4,811
賞与引当金	21,592	66,396
役員賞与引当金	20,000	22,275
返品調整引当金	27,695	36,023
事業譲渡損失引当金	376,422	—
その他	149,526	116,738
流動負債合計	922,292	626,591
固定負債		
その他	17,295	146,693
固定負債合計	17,295	146,693
負債合計	939,587	773,285

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	330,000	330,000
資本剰余金	35,352	35,352
利益剰余金	664,785	1,107,224
自己株式	△20	△81
株主資本合計	1,030,117	1,472,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	451	299
評価・換算差額等合計	451	299
純資産合計	1,030,569	1,472,794
負債純資産合計	1,970,156	2,246,080



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	4,635,250	3,030,998
売上原価	3,028,099	1,747,074
売上総利益	1,607,150	1,283,924
販売費及び一般管理費	996,702	738,425
営業利益	610,447	545,499
営業外収益		
受取利息及び配当金	75	135
受取手数料	228	149
その他	130	150
営業外収益合計	435	435
営業外費用		
支払利息	8,366	1,552
その他	23	67
営業外費用合計	8,390	1,620
経常利益	602,492	544,314
特別利益		
事業譲渡損失引当金戻入額	—	24,122
特別利益合計	—	24,122
特別損失		
固定資産除却損	22	1,530
災害義援金	9,274	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	419	—
事業分離における移転損失	109,580	—
その他	7,956	—
特別損失合計	127,252	1,530
税引前四半期純利益	475,239	566,906
法人税等	6,785	9,972
四半期純利益	468,454	556,933

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	リテール 事業	エンターテイメン ト事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,721,155	2,914,094	4,635,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,721,155	2,914,094	4,635,250
セグメント利益	2,311	608,136	610,447

(注)セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

当社の報告セグメントはエンターテイメント事業のみの単一であるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

平成23年6月1日付でリテール事業を譲渡したため、前第2四半期会計期間よりエンターテイメント事業のみの単一セグメントとなっております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第3四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月25日 定時株主総会	普通株式	114,495	3.50	平成24年2月29日	平成24年5月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。